

令和5年10月6日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 平内・佐藤・上野（電話）03-3438-9932
（FAX）03-3438-0371

病院経営動向調査（2023年9月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎（3月、6月、9月、12月）に実施しています。今回は2023年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院（355施設）を運営する法人273法人（うち、医療法人228法人）*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2023年度の経営状況および原油価格や物価高騰の影響
- 回答数：病院：249 医療法人：156 有効回答数：病院：249 医療法人：156
- 有効回答率：病院：70.1% 医療法人：68.4%
- 実施期間：2023年9月1日（金）～ 2023年9月22日（金）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が1（前回調査より19%ポイント上昇）、療養型病院が△7（ほぼ同水準）、精神科病院は△16（同14%ポイント上昇）となった。
- 医業収支（黒字・赤字）のDIは、一般病院が△17（前回調査より4%ポイント上昇）、療養型病院が21（同4%ポイント低下）、精神科病院は2（同11%ポイント上昇）となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が1（ほぼ同水準）、療養型病院が12（前回調査より14%ポイント上昇）、精神科病院は△16（同12%ポイント上昇）となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△41（前回調査より2%ポイント上昇）、療養型病院が△35（同2%ポイント上昇）、精神科病院は△53（同1%ポイント低下）となった。
- 経営上の課題として「人件費以外の経費の増加」を挙げた病院は、一般病院が55.1%（前回調査より7.4ポイント低下）、療養型病院が54.4%（同8.1ポイント低下）、精神科病院が62.2%（同2.4ポイント低下）となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは△4（前回調査より3%ポイント上昇）、事業収支（黒字・赤字）のDIは△1（同1%ポイント低下）、資金繰りDIは4（同3%ポイント上昇）、従業員数のDIは△38（同6%ポイント上昇）となった。

【その他】

- 2023年度上半期の医業収益（見込み）について、前年度同期比5%以上増加する見込みの病院が20.2%、5%以上減少する見込みの病院が25.6%となった。また、医業利益（見込み）は、前年度同期比5%以上増加する見込みの病院が18.2%、5%以上減少する見込みの病院が47.1%となった。
- 2023年4～6月において、全ての病院で原油価格や物価高騰により何らかの影響を受けていると回答し、うち前年度同期比で費用負担が増加した先は88.4%であった。

以上